



Dai 1 NAIKA News

平成 29 年 7 月 21 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報紙【第 21 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

第一内科 医局長 就任のご挨拶



循環器・腎臓内科学
藤井 英太郎

この度、平成 29 年 4 月 1 日付けで第一内科医局長を拝命いたしましたので、ご挨拶申し上げます。私自身の経歴といたしましては、平成 4 年に三重大学医学部を卒業し、直ちに第一内科に入局させていただきました。三重大学医学部附属病院での約 1 年間の研修後、山本総合病院(現桑名東医療センター)、松阪市民病院、米国ペイラー大学、鈴鹿中央総合病院、再び

松阪市民病院でお世話になり、平成 17 年 9 月から三重大学に勤務し、中野赴前教授、伊藤正明現教授のご指導のもと、不整脈の診療・臨床研究・医学教育に従事して参りました。まだまだ若輩者でございますので先生方におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第一内科は伊藤正明教授のリーダーシップの元、『人材の育成と真理の探究』を基本方針に、県下の関連病院 28 施設ならびにクリニックをご開業の先生方とともに診療、研究、教育を行っております。内科のなかでも特に総合内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、呼吸器内科、救急科、透析科、感染症科などの専門医を擁しており、幅広い領域で医療に携わっております。

『人材の育成』につきましては、患者さんを思いやる人間性はもちろんのこと、疑問を解決する探究心、適確な判断力や強い責任感、協調性を兼ね備え、患者さんやメディカルスタッフから信頼される臨床医を育てることを目指しております。

『真理の探究』につきましては、優れた臨床医には科学的

洞察力や論理的思考力を備えていることが求められます。特に大学病院は、診断や治療に難渋する患者さんや希少疾患の患者さんが紹介されてまいります。それぞれの病態を十分に掘り下げて追求解明し、おのおの患者さんに最適な治療を提供できる最も適した病院のひとつです。各診療科内の検討会や複数診療科間での合同検討会などを通じてアカデミックな視点から患者さんを診察し、正確な診断や適確な治療法を選択しております。また、多くの臨床経験から生じる疑問点を解明するために、臨床研究や基礎研究に携わることは、科学的洞察力や論理的思考力を養う上でとても重要です。クリニカルクエストに対する研究プロトコルを綿密に計画し、そのプランを着実に実行し、その上で得られた結果を多くの専門家とともに検討し、適切に統計学的解析を行い、将来の医学に貢献できるデータづくりを行うという過程を通じて、疾患の病態や事象をアカデミックな視点で捉えて分析し、正確に対応できる力を身につける大変良い経験になることは間違いありません。

平成 30 年度から新専門医制度の専攻医の登録が開始される予定です。現行制度下で内科指導医として活動されている総合内科専門医の先生は、新制度下でも内科指導医となれますが、新たに内科指導医を申請するためには、業績が必要となります。業績は、学位論文、原著論文、症例報告等です。現在は移行期のため、学会発表も研究業績発表の一つとして認められていますが、将来的には業績が求められることになるとは思います。各種専門医、内科指導医取得に際しても、サポートさせていただきます。

先生方におかれましては、日頃から多大なるご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

糖尿病、脂肪肝、肝がん

脂肪肝とは肝細胞の細胞質に中性脂肪を主体とする脂肪滴が沈着した状態を指します。脂肪肝は様々な原因で生じますが、今回は現在最も多い肥満を基盤とした非アルコール性脂肪肝 (NAFL)、および非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) について述べさせていただきます。

平成 26 年の厚生労働省国民健康・栄養調査によると、BMI が 25 以上の肥満者は男性で全人口の 28.7%、女性では 21.3%と報告されています。また、糖尿病が疑われる者の割合は男性の 15.5%、女性の 9.8%でした。NAFL は肥満や糖尿病などメタボリック症候群と密接な関連があり、その肝での表現型と考えられています。NAFL の保有率は場所によっても異なりますが、人間ドック受診者のおおむね 20~30%であり、その 10%程度、すなわち受診者の 2%程度が肝硬変、肝がん



中央検査部
杉本 和史

に発展し得る NASH を有すると見積もられています。実際に 1990 年代前半には非ウイルス性の肝がんは 10%以下であったのに対して 2009 年以降は 20%以上であり、その大多数が NASH 起因と考えられ、NASH 起因の肝硬変からの発癌率は 5 年で約 11%と報告されています。

糖尿病はその病態生理から肝疾患であるとも言えます。堀田らは 1991 年から 2000 年までの統計で本邦における糖尿病患者の死因のうちで、肝がんと肝硬変の占める割合は 13.3%で最多であったことを報告しており、糖尿病は肝がんの相対リスクを 2.5 倍に増加させるとされています。肥満、糖尿病では脂肪細胞や消化管よりもたらされるサイトカイン、エンドトキシンによる血管の炎症が動脈硬化の発症の原因になると考えられていますが、同時にこれらは門脈から肝に直接流入し肝の炎症、発癌の原因になると考えられます。肥満、糖尿病、脂質異常患者は一般の開業医の先生に通院されることが多く、発癌を視野にいれた診療が必要と考えます。字数の制限のためここには詳細が記載できませんが、9 月の梅檀の会でもう少し詳しく述べさせていただきます。



循環器内科
岡本 隆二

2次性高血圧症の原因はこれまで腎臓が最多と言われてきましたが、最近では原発性アルドステロン症(PA)が最多ではないかと言われております。日本では高血圧症患者が約2,000万人おられますが、そのうちの5-10%、100万人以上がこの疾患と推測されています。アルドステロンは、降圧を行っても、動脈硬化を促進し、薬剤を開始するとマスクされてしまうので、見逃すと最終的に患者さんを苦しめてしまいます。重要なことは、想像以上に頻度が高い疾患で、片側性であれば、根治可能な高血圧症だということです。根治まで導けた場合、患者さんの満足度はとても高く、本態性を合併している場合も薬剤の数や心血管イベントのリスクを減らすことが出来、クリニックの評判にもつながるそうです。

高血圧学会の診断基準(JSH2014)が整備されるにつれ、アルドステロン症疑いで入院する患者は年々増加しており、年間30-40例が入院されます。当院では2次性高血圧症鑑別のクリパス入院と、100%近い成功率の副腎静脈サンプリングを行えるため、初発の高血圧症患者でアルドステロン/レニン活性比が200以上の方は是非ご紹介をお願い致します。古典的な低K血症や副腎腫瘍の合併は不要です。また急に治療抵抗性になった高血圧症例の精査、CTで副腎腫瘍を偶然指摘された方も大歓迎です。

両側性の特発性アルドステロン症の場合、原則として、紹介して頂いたクリニックや病院でアルドステロン受容体拮抗薬を

中心とした降圧療法を、お願いしております。定期的に大学で併診して頂き、エコーや血液検査等を受けて頂いております。現在循環器・総合内科、糖尿病内分泌内科、泌尿器外科、放射線IVR科の合同で、前向き登録研究を行ない、100名を越えています。循環器内科あるいは総合内科宛にご紹介頂ければ、責任を持って精査を行わせて頂きます。降圧薬はカルシウム拮抗薬のみが理想的ですが、現状のままご紹介頂いて結構です。今後ともご支援・ご紹介の程、宜しくお願い致します。

医師紹介



循環器・腎臓内科学
片山 鑑

今年4月より三重大学循環器・腎臓内科学の助教として研究および臨床に従事させて頂いております。私は三重大学を卒業後、日本で10年間臨床を中心に勉強した後、スウェーデンのカロリンスカ研究所で10年間基礎研究を中心に勉強してまいりました。今後は、腎臓内科での基礎研究をうまく立ち上げられたらと思っております。腎臓の研究は心臓の研究よりやや遅れている印象がありますので、大学院生の指導も含めて研究方面でお役に立てたらと思っております。至らない点多々あると思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

梅檀の会

日時：9月7日(木) 19:00~

場所：三重県総合文化センター 文化会館 2階大会議室

世界血栓デー日本・市民公開講座 2017

日時：10月15日(日) 13:30~

場所：三重県教育文化会館 多目的ホール

● 第一内科外来担当がリニューアルされました。7月~

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田(偶数週) 山本	藤本(直) 村田	岡本 土肥 石川	田辺 杉本	荻原
	再診	山田 岡本,山本	藤本(直) 村田	岡本 石川	田辺 杉本	
循環器	初診	山田 大森 中谷	藤井 藤本(直) 福岡	岡本 土肥	田辺 藤田 森	香川 荻原 石山
	再診	伊藤,岡本 藤本(直), 増田,栗田 デバイス外来香川	土肥 杉浦 佐藤	岡本	田辺 藤田	山田 藤井 熊谷 荻原
腎臓	初	伊藤(貴)	村田	石川	片山	鈴木
	再	石川	溝口	小田		村田
消化器 肝臓	初	山本			杉本,小倉	
	再	杉本 山本,小倉		山本	杉本,小倉	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火,木,金曜日の外来(担当: 藤井, 藤田, 香川)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。
デバイス外来(1,2,3週のみ)

● 第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/>

三重大学病院循環器内科, 腎臓内科

~患者様をご紹介ください~

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要事項を御記入の上、FAX059-231-5541に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2. 緊急受診, ご相談等

下記、循環器内科, 腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。
病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科, 腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科, 腎臓内科連絡先(直通)

内科外来: 059-231-5146

病棟: 059-231-5101

FAX: 059-231-5518

研究棟: 059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。
本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

